



2020年8月6日

各位

会社名 千代田化工建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山東 理二
 (コード番号 6366 東証第二部)
 問合せ先 主計部長 秋山 卓
 (TEL 045-225-7281)

2021年3月期 通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月8日に公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としていた2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期 純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | - | - | - | - | - |
| 今回修正予想(B) | 280,000 | 11,000 | 9,000 | 7,000 | 18.92 |
| 増減額(B-A) | - | - | - | - | - |
| 増減率(%) | - | - | - | - | - |
| (ご参考) 前期実績 (2020年3月期) | 385,925 | 26,789 | 18,644 | 12,177 | 40.94 |

2. 通期連結業績予想に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う世界経済の停滞によるエネルギー需要の減少等、当社を取り巻く事業環境の急激な変化を受け、本年5月に未定として発表しました。同感染症の拡大が及ぼす影響等により未だ先行きが不透明な状況に変わりなく、今後の新規案件に対する顧客の投資判断についても今暫く時間が掛かるものと予測される中、当社グループは、国内外の手持ち工事を着実に遂行しています。

こうした状況のもと、2021年3月期の連結業績見通しは、想定為替レートである1米ドル107円を前提として、連結受注工事高6,500億円、連結完成工事高2,800億円、営業利益110億円、経常利益90億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を見込んでいます。

なお、本業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響について合理的に算出した影響額を織り込んでおりますが、収束時期や今後の経済環境への影響など見積りの前提となる条件や仮定に変更が生じた場合には、変動する可能性があります。

3. 配当予想に関する説明

当社は2020年6月25日開催の第92回定時株主総会において、繰越利益剰余金の累積損失の解消及び財務体質の健全化を図ることを目的として、資本金及び資本準備金の額を減少し、減少

した資本金及び資本準備金の全額をその他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることを付議し、承認可決されております。当該承認可決を受け、2020年8月7日の効力発生を条件に、累積損失の解消を見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大とそれに伴う世界経済の停滞によるエネルギー需要の減少等、当社を取り巻く事業環境の急激な変化については未だ先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下、一定の前提を置くことにより通期業績予想については公表させていただいたものの、普通株式に係る配当及び普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る配当につきましては引き続き未定とさせていただき、公表可能となった時点で公表いたします。

(注)見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。従いまして、これらの見通しのみには依拠した判断をされることは控えるようお願いいたします。

以 上